

あなたのスキルは社会に役立つ

エンジニアだからできる社会貢献

東日本大震災の発生直後に発足したHack For Japanや「市民が主体となって自分たちの街の課題を技術で解決するコミュニティ作り支援」を掲げるCode for Japanのメンバーを始めとして、日本各地で技術を活用した社会貢献活動が行われています。本連載では、防災や減災、地域の活性化や課題解決、そして人材育成など、「エンジニアだからできる社会貢献」の取り組みをお届けします。

第140回

「IT×エンターテインメント」で地域の活性化を目指す

●一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 (MISA) 事業共創委員会 / SaiS プロダクション株式会社 代表取締役 柴崎 由里子 (しばさき ゆりこ)

みなさんこんにちは！ 仙台で活動している柴崎由里子です。一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 (MISA) の事業共創委員会メンバーで、SaiS プロダクション株式会社の経営もしています。会社経営では、システム事業部と芸能事業部の業務を行っています。

今回は、MISA 事業共創委員会が主催したアイデアソンイベント、『『地域活性化アイデアソンイベント』～IT×アイドルで仙台をもっと盛り上げる～』^{注1}についてお伝えします。

地域活性化アイデアソンイベント

2023年2月19日(日)、専門学生、大学生、IT関連のお仕事に携わっている方、ITに興味関心がある方を対象とした、「IT×アイドル」という異業種の新結合による地域活性化につながるアイデアソンイベントを実施しました。ゲストとして仙台で活躍する4ユニット11人のアイドルのみなさんを招き、ファシリテーターとしてINTILAQ東北イノベーションセンターのセンター長である佐々木大さんを迎え、仙台市にある同センターでの開催となりました。

本イベント実施に至った経緯は、MISAとして「仙台のIT業界を盛り上げたい」という強い

思いがあったからです。仙台のIT業界で何かおもしろいことを実施することで、将来ITの仕事に就きたいと思っている学生や若手技術者に「仙台のIT業界ってこんなにおもしろいんだ!」「自分も仙台でITをやってみたい!」と興味を持ってもらい、みなさんのエンゲージメント向上のきっかけになれば、と考えました。さらにそれが地域活性化につながるなら、すばらしいイベントになること間違いなしですよ。

筆者個人としては、システム事業部と芸能事業部を運営していく中で「IT×エンターテインメント」の異業種同士の掛け合わせが地域活性化にとって大きな起爆剤になってくれるのではないかと期待を長年持っており、いつか何かしらの形で実現できたらとふつふつと胸に秘めていました。そのため、ようやくその夢への一歩が踏み出せる気持ちでワクワクしていました。

イベントダイジェスト

さて、本イベントはどのような内容だったのでしょうか。少しイベントを振り返っていきます。

アイデアソンに向けての下準備として、まずはアイドルの推し活経験もある佐々木さんから「アイドル」についての説明がありました。「どのような形で異業種同士のアイデアを創出していくのか」などの学びが深く、なおかつワクワクが倍増する講義でした。

注1) <https://www.misa.or.jp/upload/files/20230219-ida%282%29.pdf>

続いてはアイドルのみなさんに現在抱えている悩みや課題を赤裸々に語っていただく、アイドルの本音大暴露大会です。アイドルの本音をリアルに聞く機会はなかなかないので、参加者のみなさんから「目からうろこの話がたくさん聞けた」という声が上がりました。ますます会場内のボルテージが上がっていきます。

さらに、ここで挙げたアイドルのみなさんの悩みや課題をIT技術で解決に導いていくためのブレインストーミングが行われました。なんとここからは急遽アイドルのみなさんにもワークショップに参加していただきました。先ほどの悩みや課題の解決方法だけではなく、地域活性化にもつながっていくようなアイデアをどんどん生み出していきます。

個人個人でそれぞれアイデアを創出したら、発表の時間です。参加者のみなさんはもちろんのこと、実際に悩みや課題を抱えている当事者（アイドルのみなさん）にも発表していただくことで、視点の異なる興味深くおもしろいアイデアがたくさん創出されました。みなさん、一人一人の発表を食い入るような真剣な面持ちで聞いていました。

その後は参加者とアイドルが混合チームになり、最終発表に向けた大詰めของกลุ่มワークです。全チーム、かなり自熱したディスカッションが繰り返されていました（写真1）。今回の参加者はアイデアソン初心者の方がほとんどでしたが、佐々木さんにお力添えをいただきなが

ら、一人一人が受身にならずしっかりと自分の考えを持ち、相手に意見を伝えている姿がとても印象的でした。チーム内で役割分担をしながら、楽しく真剣に発表に向けて進めていきます。

そして、いよいよ最終のメインプログラム、チームごとのアイデア発表の時間です（写真2）。次の4つのアイデアが発表されました。

- 地域とアイドルをつなげるアプリ「宮城×愛踊」
- アイドルのメンタルケアを可視化するアプリ「アイドルライフバランス」
- AIとVRを活用したアイドル×地域活性化サービス
- ガチャを活用した地域活性化サービス「アイドルガチャ」

「アイドル×地域」のアプリやサービス展開をはじめ、アイドルの健康維持アプリなど、違う視点からのおもしろいアイデアが生まれました。このように予測不可能な展開が見られるのもアイデアソンの醍醐味だと感じました。

参加者のみなさんからの声

イベント開催にあたり、参加者のみなさんのニーズを把握するために事前アンケートを取っていました。いくつか提示した参加目的のうち上位になった回答は次の3つです。

1. 新規アイデアのヒントがほしい

◆写真1 グループワークの様子



◆写真2 チームごとのアイデア発表の様子





2. 各企業や大学の若手同士でディスカッションしたい
3. 新規事業やアイデアを考えるフレームワークを習得したい

イベント終了後は、「本当に神イベントだった!」「楽しかったのでほかの地域でも実践してみたい!」「とてもおもしろい案ばかりでIT×アイドルの可能性を見いだすことができた」との意見が多く寄せられました。また、就活のエントリーシートで企画を提出する際や、社内イベントの際などで「アイデアソンで学んだことを今後活かしていきたい」という前向きな意見もいただくことができました。

参加者のみなさんのニーズを満たす、満足度の高いイベントになったと思います。

アイドルのみなさんの感想

ゲストでお招きしたアイドルのみなさんを表示して各ユニット1名に、それぞれ参加してみての感想をいただきました(以下、ユニット名の五十音順)。

EarthAce-SND (アースエースセンドアイ): いわや りかさん

私は今回、初めて「IT」について考えました!よく聞くITだけど、どんなものなの……?それを私たち「アイドル」と掛け合わせる!と内心ドキドキしていましたが、年齢関係なくさまざまな意見が聞けて、おもしろかったです!宮城のITもアイドルもアツい!これからがとっても楽しみです(写真3)!

仙台 flavor (センドイフレイバー): 伊達 夏海さん

一見、ITとアイドルは関係ないと思っていましたがこのイベントに参加してみて、ITとアイドルは何らかの形で交わるのではないかと思いました。正直私はITには疎いですがアイドルとしてITとうまくやっていける手段が見つかる可能性の高いイベントでした(写真4)。

杜の都女子音楽院(モリノミヤコジョシオンガクイン): 秋吉 柊花さん

ITとアイドルの関わり方でわかることは最初の2文字が一緒ということだけでしたが、その道の方々と議論を交わし「そういう混じり合い方もあるのか」と目からうろこでした。知らない分野だからこそ、アイドルから奇抜なアイデアが飛び出たりして、刺激的で非常におもしろい会でした(写真5)。

ヤンチャン学園SENDAI(ヤンチャンガクエンセндаイ): 春谷 美羽さん

「IT×アイドル」ということで、私たちの地域活性における可能性について初めて深く考えるきっかけとなりました。参加者さん、アイドルさん本当に一人一人視点が違い、たくさん発見があり、自分の視野がかなり広がりました。さまざまな職におけるITの専門家の方から考え方やお話を聞ける機会というものなかなかないため、ものすごく貴重な経験をいただいたと思

◆写真3 EarthAce-SND: いわや りかさん(向かって左から2番め)



◆写真4 仙台 flavor: 伊達 夏海さん(向かって右)



◆写真5 杜の都女子音楽院：秋吉 柊花さん(向かって右)



◆写真6 ヤンチャン学園SENDAI：春谷 美羽さん(向かって左)



います。学んだことをより活かし、仙台でのアイドル活動により一層磨きをかけていきたいです(写真6)。



少し余談になりますが、今回のアイドルのみなさんはなんと！全員がアイデアソン初参戦でした。そのため、最初は緊張の面持ちでしたが、やはりいつも大勢の方々の前でステージに立っていらっしやるだけあります。すぐに場に馴染み、最後は参加者のみなさんと一緒に和気あいあいと楽しくアイデアを創出していました。現役アイドルのみなさんは発想力があって、ユニークなアイデアを創出している様子が印象に残っています。また会場をととても華やかに彩っていただきました。本当にありがとうございます。

地方市場の活性化に向けて

今回のイベントを通して、年齢や取り巻く環境が違えばそれぞれの視点も異なるので、アイデアソンでさまざまな発想が生まれるのだとあらためて感じました。きっと新たな参加者同士で同じアイデアソンを行ったとしても、また違うアイデアがどんどん生まれると思うと、本当にアイデアソンは奥が深くてももしろいイベントだと思います。

筆者個人としては「IT×エンターテインメント」について、ますます可能性のある未来を思

い描くことができました。芸能とITに関わる一人間として、仙台でのIT市場、エンターテインメント市場をもっと盛り上げていきたいという思いで日々活動をしています。それぞれ単体の市場で考えるだけではなく、今回のアイデア

ソンのように、異業種同士の市場をうまく組み合わせることで、2倍、いやもしかしたらそれ以上の価値を生み出す可能性があるという確信を持つことができました。

現在はどちらの市場も、地方と首都圏で比べると圧倒的に首都圏側の規模が大きいです。地方でしか成し遂げられないような差別化を見いだすことで、これからの地方市場の活性化につながるのではないかと思います。そして、仙台の「IT」「エンターテインメント」がおもしろいと1人でも多くの方に興味を思っただき、これからの将来を担う方々が働きたくなるような仕事や企業を増やすことが、筆者にできる仙台の活性化への取り組みだと思っています。

将来をより良くするためにどのようなことができるか、一人一人が意識して考え、行動すれば、きっと未来は良い意味で変わるはず。そのような人たちを増やすためにも、「ITってこんなにおもしろい！」と思ってもらえるイベントを継続して仙台で実施していきたいです。

最後に、今回参加してくださったみなさん、ファシリテーターを務めてくださった佐々木大さん、ゲスト参加のアイドルのみなさん、後援協力をいただいた国立研究開発法人情報通信研究機構・東北経済産業局・仙台市のみなさん、関係者のみなさんに心から感謝の気持ちをお伝えします。SD